

得点と評価値の算出方法と 落札者選定の事例

「舗装工事における走行音低減の評価事例」

市街地における舗装工事にあたって「路面騒音の低減」を評価した工事を例に、企業などからの技術提案がどのように評価されるかを紹介します。

$$\text{評価値} = \frac{\text{得点}}{\text{価格}^1} = \frac{\text{基礎点} + \text{加算点}}{\text{価格}}$$

1 基礎点とは？

$$\frac{\text{基礎点価格}}{\text{予定価格}} \times 100 = \text{基礎点}$$

2 加算点とは？

「加算点」とは、標準値を上回る提案に対し、内容の評価に応じて、加算される得点です

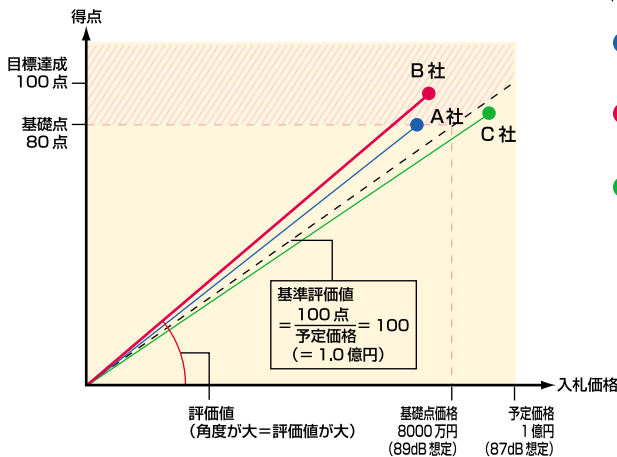
- 「路面騒音の低減」を**評価項目**と設定します。
- このとき、標準的な設計・工法で達成される騒音の**標準値**89dBに対して、**目標値**を87dBと設定します。

- 標準値89dBを達成する場合の積算工事価格=8,000万円を**基礎点価格**とします。
- 目標値87dBを達成する場合の積算工事価格=1億円を**予定価格**とします。

- 予定価格に対する基礎点価格の割合(%)が**基礎点**となり「8,000万円÷1億円×100点」=80点となります。

- 標準値89dBと目標値87dBの差=2dBに、**加算点**として100点満点と基礎点80点の差=20点を割り当てます。
- 標準値を上回る提案に対して、測定精度を考慮して0.5dBの低減ごとに5点を加算することとします。

3 落札者の選定



- 技術提案内容を審査し、実施体制等が確実な提案について、内容を上記の方法で得点換算し、**評価値**を算出します。

- A社 提案値 89.0dB、入札価格 0.70 億円
(基礎点 80点 + 加算点 0点) ÷ 0.70 億円 = 評価値 114
- B社 提案値 87.5dB、入札価格 0.75 億円
(基礎点 80点 + 加算点 15点) ÷ 0.75 億円 = 評価値 127
- C社 提案値 88.5dB、入札価格 0.95 億円
(基礎点 80点 + 加算点 5点) ÷ 0.95 億円 = 評価値 89

A社は技術提案はないものの、価格は最も安い。
B社は技術提案は最良、価格は2番目に安い。
C社は予定価格に相当するコストパフォーマンス
(図中の基準評価値=100)を下回る提案であるため失格。

結果は、コストの上昇を抑えつつ、最も目標値に近い
工事を提案したB社の落札となりました。

※このように、性能等の数値で評価するほか、「優・良・可」といったランクを判定して得点評価する方法や、「順位」に応じて得点を与える方法等があります。評価方法の詳細い説明は、「公共工事における総合評価落札方式の手引き・事例集(改訂第2集案)」を参照してください。

1) 価格には、入札工事価格に加えて、維持管理費・更新費を含むライフサイクルコストも評価することができます。